

平成18年度 分野チェックリスト

分野名	産業経済・区民生活分野	分野番号	4
分野担当部	区民生活部	関連部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指 標 名	単位	指 標 値			目 標 値	
			16年度	17年度	18年度	22	年度末
1	地域の活動等に参加している高齢者の割合	%	17.2	14.5	15.6	25.0	
2	隣近所との人間関係が良好と感じている区民の割合	%	80.7	79.9	79.7	85.0	
3	みどりの産業事業所数	所	4,982	<4,982>	<4,982>	増加させる	
4	まちの魅力度	%	76.7	77.2	81.7	85.0	
5	区内個人事業者の課税所得平均値	千円	6,920	10,044	7,634	増加させる	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)
<p>1 高齢者の地域活動等参加率 16年度の17.2%から17年度は減少し、18年度再び増加との結果となった。なお、18年度の数値は増加しているものの16年度の数値に至っていない状況である。</p> <p>2 隣近所との人間関係が良好と感じている区民の割合 指標値の変化は、ごく僅かに低下しているものの約8割の高水準を維持している。近年、一般的にいわれている「住民関係の希薄化の進行」とは異なる傾向を示している。</p> <p>3 みどりの産業事業所数 4年に1度、杉並区新産業実態調査として実施される数値であるため、数値に変更はない。</p> <p>4 まちの魅力度 17年度までは18～29歳までを対象としていたが、今年度より指標の対象を区民全体に変更した。指標値は増加の傾向にあり、本年度は81.7%と目標値である85%に近づきつつある。</p> <p>5 区内個人事業者の課税所得平均値 区内個人事業者の課税所得平均値(青色申告者の総所得金額等合計額)は17年度に大きく伸び、18年度減少している。これは、17年度に特例的に大きな所得があった者がいたことによる影響である。仮にこの分を除くと7,070千円となり、景気の回復を反映し遡増する傾向にある。</p>

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	地域の活動等に参加している高齢者の割合	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	杉並区区民意向調査における60歳以上の回答者のうち「あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか」の問いに「町会・自治会活動」または「社会貢献・社会参加活動」と回答した人の割合	
2	隣近所との人間関係が良好と感じている区民の割合	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	杉並区区民意向調査における回答者のうち、自宅周辺の生活環境の評価で「隣近所との人間関係」について「良い」または「まあ良い」と回答した人の割合	
3	みどりの産業事業所数	特別区全体 139,666所
	NTTデータベースから抽出した情報通信、環境、福祉など「みどりの産業」にふさわしい分野の事業所数 (杉並区新産業実態報告書における新産業の事業所数 4年に1回)	
4	まちの魅力度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	杉並区区民意向調査における回答者のうち「あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか」の問いに「特に魅力を感じる地域はない」と回答した人以外の人の割合	
5	区内個人事業者の課税所得平均値	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。【関連参考データ】一人あたり課税所得平均(東京都市町村税の課税状況等の調査結果 参考資料:12表関係)他区(第4ブロック)との比較 杉並区 5,075千円 中野区 4,114千円 豊島区 4,160千円 板橋区 3,756千円 練馬区 4,207千円
	青色申告の総所得金額等÷件数(19年9月現在)	
特記事項		